

活動名:第21回喜多方市長杯蔵のまちフットサル4年生大会

日程:平成28年12月24日～25日

会場:喜多方押切川体育館

参加:E4・T5(4年生)クラス11名

帯同:設楽、佐藤コーチ

結果:第9位/16チーム中「敢闘賞」

報告:設楽コーチ

予選リーグ

VS 3-4 北部FC ●

VS 5-2 会津サントス ●

VS 8-5 喜多方中央 ○

予選:3位/4チーム

フレンドリートーナメント

VS 12-1 デランテロ ○

VS 3-1 興譲小 ○

VS 5-2 安積第三 ○

結果:敢闘賞 第9位/16チーム

毎年参加させていただいている喜多方市サッカー協会主催の「蔵のまちフットサル大会」に今年も参加させていただきました。

4～6年生までの大会ですが、全てのカテゴリーを毎年参加させていただき、初陣を切ったのが4年生たちでした。4年生たちは初めての公式戦であるフットサル大会であり、数回の練習でルールを覚え、2日間6試合を全員出場で挑みました。様々な経験の場となり成長したと思います。

さて私は、1年間T5・E4クラスの特別練習会を担当していたので、身近に見てきた選手たちだったので、一人ひとりの個性を理解していました。メンバー構成や一戦一戦の戦い方は事前にイメージしていましたが、同じブロックの予選リーグに強豪2チーム(いずれも決勝戦へ進出したチーム)がいたため、厳しい戦いになると思っていましたが、やはり相手の方が上手でした。

<予選リーグ>

○北部FC戦(今大会準優勝チーム)

試合が始まり2点を簡単に奪うことができたスタートでしたが、相手が徐々に勢いが出てきて、攻撃を抑えることで精いっぱい戦いになり、得点3:3となった後半

残り1分にもものすごいミドルシュートくらい惜敗しました。選手たちは初戦から大泣きしていました。私も悔しい負け方をしたので、久々に悔しい思いをさせられました。

○会津サントス戦（今大会優勝チーム）

初戦の惜敗後にミーティングを行い、泣いていた選手たちを励ましましたが、初戦が終わってこの雰囲気では次も厳しい戦いになると思われ、まだ初戦で全てが終わったわけではないと「渴」を入れました。

試合が始まり、やはり相手チームのレベルは高く、守備で攻撃を防ぐことで精いっぱいでした。しかし、カウンター攻撃により後半は何度かチャンスを作り、大量失点でリードされながらも得点を奪うことができました。強豪相手に真っ向から向かっていくプレーは素晴らしかったです。

しかし、これで2敗となり決勝トーナメント進出は無くなり、選手たちからも「優勝」の目標が消えました。

○喜多方中央戦

最後の予選リーグの試合でしたが、相手は他チームに大量得点で負けており、2、3年生が主体のチームであったことから、やっとうちの選手たちも自分たちのプレーができました。前半で大量得点できたので、前試合で出場機会が少なかった選手を中心に後半は戦いました。後半は失点が多く、最終的に勝利はしましたが少し課題が残る試合内容となりました。

二日目の試合は9時からの第1試合となり、集合時間を8時にしたため、郡山を6時過ぎには出発することになりました。早起きで厳しい二日目になってしまいましたが、フレンドリートーナメントで優勝（敢闘賞）を目指そうと話し、早寝、早起きをしようとするクリスマスイブにも関わらず、20時には寝るように伝えました。次の日に就寝時間を確認したところ、ほとんどの選手たちが20時には寝ていたので関心させられました。私たちも選手たちの意気込みを感じ、勝たせてあげたいと気合いが入りました。

<フレンドリートーナメント>

予選リーグ敗退で決勝トーナメントに行けなくなったため、優勝するといった大会に挑む時の目標が無くなりましたが、フレンドリートーナメントでの優勝（敢闘賞）を狙うことを目標に戦いました。

今回のアーレのチームレベルとしては、初日で他チームの戦いを見ましたが、アーレメンバーは決勝トーナメントに進出できるレベルであったので残念でしたが、フレンドリートーナメントでは、全てのチームに対して技術やフィジカルなど上回っていた

たため、負ける様子は全くない圧倒的な勝利で目標の「敢闘賞」を手に入れることができました。

<総評>

・一試合一試合のメンバーを決める作業は、私たちにとって一番大変です。子どもたちはみんな「試合に出たい！」とアピールしてきます。みんなを出してあげたいのですが、短い試合時間で11人を出し切ることはゲームの流れを変えてしまう恐れもあり難しく、大会は練習試合とは違い勝利が優先であり、全ての選手の経験を優先させると勝利がついてこない経験もあるため、チームの勝利を目指すメンバーとして、日々しっかりと練習しているメンバーの中ではある程度技術を持った選手が中心となります。選抜されなかった選手たちは悔しい思いをしますが、この悔しさを糧に日々の練習を今後も頑張ってもらいたいと思います。今回の大会では前半に得点を多くして自分たちの試合運びができるように得点力や相手からボールをしっかりと奪うことができる選手を選抜メンバーにしました。

・どのクラスもそうですが、キーパーをやりたがる子がいなくて、毎試合困りますがキャッチができる子を順番制で務めてもらいました。

・この学年はリーダー的存在だった2名の子が最近退会したことから、リーダー的選手がいらないような雰囲気でしたが、今大会ではT5クラスでプレーしていた三部くんにお任せ、試合では多くの得点をしてしっかりみんなを引っ張ってくれました。

・得点力としては、二日間で36得点の大量得点をしています。しかし、この点のほとんどが一人の選手から相手を崩して単独的な得点でありました。他の選手たちもシュートチャンスは多くありましたが決定力が無く、しっかりとゴールとキーパーを見ている場所に蹴り込む精度を今後の練習で上げていきたいと思いました。

喜多方は遠い地域で送迎が大変でしたが、子供たちのために二日間、朝早くからお越しいただき熱い応援をしていただいた保護者へ感謝いたします。また、お孫さんの応援におじいちゃん、おばあちゃんがお越しいただいた家族もいたようです。子どもたちの日々の練習の晴れ舞台だったので、今後も是非応援にお越しいただければと思います。また、ビデオで子供たちを撮影されていた保護者もいましたが、是非、子供たちが試合を振り返るのに良いツールですので、家族で観て子供と親と意見交換をすることも素晴らしい成長につながると思います。

最後に、大会関係者の方々、参加されたチームの方々に感謝します。有難うございました。来年のアーレ出場枠もまた宜しく願いいたします。

コーチ：設楽







